

令和5年度 第4回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：(1日目) 令和5年12月12日(火) 9時00分～12時00分
(2日目) 令和5年12月13日(水) 9時00分～12時00分

2. 場 所：香川県社会福祉総合センター 第1中会議室(2日間とも)

3. 出席者：委員(敬称略)

委員長 白木 渡 (香川大学名誉教授)

副委員長 角道 弘文 (香川大学創造工学部教授)

委員 池田 弘子 ((株)人間科学研究所所長)

佐藤 好美 (佐藤好美建築工房主宰)

末永 慶寛 (香川大学創造工学部教授)

福村 晃一 (香川大学経済学部准教授)

國村 一郎 ((一社)香川経済同友会専務理事)

(全委員7名出席)

4. 議 事

- (1) 事後評価対象計画

下記の10計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

①社会資本総合整備計画 屋島地区都市再生整備計画 [事業主体：高松市]

②社会資本総合整備計画 通学路等における交通安全対策の推進(防災・安全)
[事業主体：高松市]

③ことடன்新駅(太田～仏生山駅間)周辺地区都市構造再編集中支援事業
[事業主体：高松市]

④多度津駅周辺地区都市構造再編集中支援事業 [事業主体：多度津町]

⑤社会資本総合整備計画 文教地区にふさわしい歩行者空間整備(防災・安全)
[事業主体：坂出市]

⑥社会資本総合整備計画 さぬき市における暮らしを守る安全・安心な下水道
づくり(防災・安全)(重点計画) [事業主体：さぬき市]

⑦農山漁村地域整備計画 高松市の漁港における海岸耐震対策の推進
[事業主体：高松市]

⑧農山漁村地域整備計画 小豆島町の漁港地域における海岸堤防等老朽化対策
[事業主体：小豆島町]

⑨社会資本総合整備計画 室本港における安全で利便性の高い港湾環境の
整備(防災・安全) [事業主体：観音寺市]

⑩社会資本総合整備計画 離島架橋による地場産業の活性化を目指した安心・
安全な基盤づくり [事業主体：土庄町]

(2) 再評価対象事業

下記の2事業について、事業主体から、現在までの進捗状況や長期化している理由、事業の必要性等を説明し、再評価の審議を行った。

①社会資本総合整備計画 文教地区にふさわしい歩行者空間整備

(防災・安全)京町線

[事業主体：坂出市]

②観音寺スマートインターチェンジ(仮称)アクセス道路整備事業

[事業主体：観音寺市]

(3) 事業別審議結果

【事後評価】

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号⑥～⑨について、「十分な効果があった」、計画番号①～④について「一定の効果があった」、計画番号⑤⑩について「次期計画で検証」と事業主体が評価したこと、また、事後評価における対象計画番号②③⑤⑩について「継続する」とした計画について「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・計画目標値について、優先順位等から事業期間内に完成を目指す範囲を100%とするなど、誤解を招かない指標とするよう考慮されたい。(事後評価②)
- ・人口が集中した箇所に適正な行政サービスを提供できるよう市全体の都市計画のバランスを考えて進めていただきたい。(事後評価③)
- ・地域交流センターの利用者数は目標値を大幅に超えていることから、これによる効果を周辺に波及させるよう努められたい。(事後評価④)
- ・ポンプ場の老朽化対策等、下水道事業の効果や重要性が地域住民に伝わるよう努められたい(事後評価⑥)
- ・インフラ施設の老朽化対策について、他の施設も含めて計画的に進めていただきたい。(事後評価⑧)

【再評価】

事業①の対応方針(案)「事業計画を見直して継続」は、妥当と判断された。

事業②の対応方針(案)「事業継続」は妥当と判断された。

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・課題解決のため事業計画の見直しは必要。坂出駅や駅周辺のポテンシャルを活かすための検討を進めていただきたい。(再評価①)
- ・計画段階から調査や地元との協議を積極的に行い、事業着手後に変更が発生しないよう今後活かしてほしい。(再評価②)